

身
出さ
戸口
矢

「義経ルート」観光に

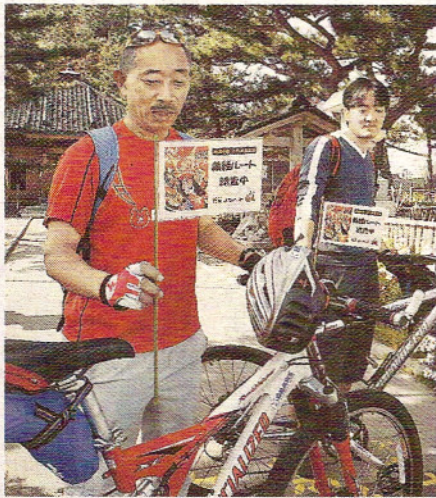
自転車走破でアピール

源義経が平泉(岩手県)に逃れる際に通ったとされる奥内のルートをマウ

ンテンバイクでたどろうと、戸沢村津谷出身の矢口正武さん(59)＝東京都渋谷区、造園コンサルタント＝らが十九日、鶴岡市鼠ケ関を出発した。宮城県鳴子温泉まで約百三

十六キロを四日間で走破する予定。矢口さんは本業の傍ら、全国各地の地域おこしをサポートする特定非営利活動法人(ＮＰＯ法人)「元氣・まちネット」

の設立を目指している。今回の「義経ルート走破」もその一環。矢口さんと、元氣・まちネットのメンバー高橋靖一郎さん(39)＝東京都東大和市＝ら三人が「義経ルート踏査中」の旗を掲げて走る。義経がたどった道程を首都圏でも広くアピールし、本県の観光振興につなげるのが狙いだ。



源義経がたどった奥内ルートの走破に取り組み
矢口正武さん(左) 鶴岡市鼠ケ関

鼠ケ関から庄内町清川、最上町の赤倉温泉などを通って、中山峠を越える。初日は、鼠ケ関や同市三瀬の義経ゆかりの場所をめぐる、湯田川までを走った。矢口さんは「東京から、生まれ故郷の山形にエールを送りたい」と話している。今後、「松尾芭蕉ルート」「イザベラ・バードルート」の走破も予定している。